

「KU ポートスクエア」は、社会と大学との接点の役割を担い、生涯学習講座の開講、シンポジウムや自治体との連携事業などを行っています。2016年度は、日本常民文化研究所主催による二つの講座が開催されました。

■神奈川大学日本常民文化研究所による古文書講読講座

自ら読み解く力を身につけ、古文書の伝える歴史の世界を味わう

[講座概要]

日時：2016年5月20日～12月16日 毎週金曜日 18：00～19：30（全20回）

会場：神奈川大学横浜キャンパス 3号館303・304教室

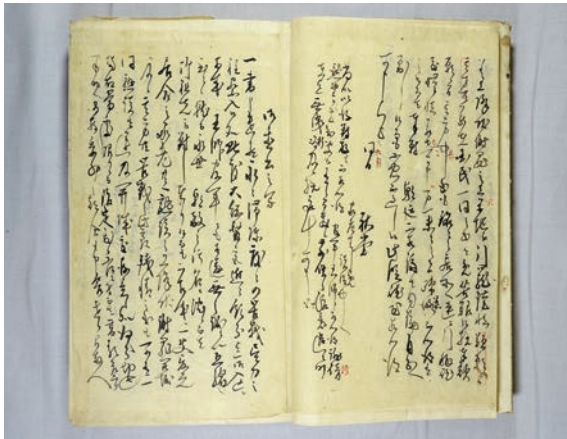


写真1 「兀席湖山抄」（中央水産研究所所蔵）

日本常民文化研究所がこれまで取り組んできた地域史研究は、様々な資料の解読・整理・保存の技術を開発・蓄積させてきました。本講座では、いわゆる江戸時代の地方文書を中心に、その周辺の時代にも範囲を広げて、古文書を講読する力をつけるため、入門コースと応用コースを設定して6名の講師によって授業を行っています。受講者による研究論集や資料集の作成、古文書購読研究会等、近年講座以外の活動も活発化しています。

講座日程

前期

後期

回	入門コース	応用コース	日程	回	入門コース	応用コース	日程
第1回	石井日出男 客員研究員 経営学部 講師	川鍋定男 外国語学部 講師	2016年5月20日(金)	第11回	鈴木江津子 特別研究員	関口博巨 客員研究員 歴史民俗資料 学研究所 講師	2016年10月7日(金)
第2回			2016年5月27日(金)	第12回			2016年10月14日(金)
第3回			2016年6月3日(金)	第13回			2016年10月21日(金)
第4回			2016年6月10日(金)	第14回			2016年11月4日(金)
第5回			2016年6月17日(金)	第15回			2016年11月11日(金)
第6回			2016年6月24日(金)	第16回			2016年11月18日(金)
第7回			2016年7月1日(金)	第17回			2016年11月25日(金)
第8回	越智信也 職員		2016年7月8日(金)	第18回	田上 繁 所長 歴史民俗資料 学研究所 教授		2016年12月2日(金)
第9回			2016年7月15日(金)	第19回			2016年12月9日(金)
第10回			2016年7月22日(金)	第20回			2016年12月16日(金)

■瀬戸内海・海の民の歴史と民俗

二神島の歴史と文献史料や葬送儀礼など民俗文化を紹介

[講座概要]

日時：2016年6月3日～7月8日 毎週金曜日 13:00～14:30 (全6回)

会場：神奈川大学横浜キャンパス 3号館 205教室

瀬戸内海の小島・二神島は、古くは財団法人日本常民文化研究所時代から網野善彦・河岡武春両氏によって研究調査が行われるなど、歴史と民俗の分野においても研究対象地としてきわめて魅力的な島です。1982年に研究所が神奈川大学に移管されたあとも研究は続けられ、2008年からは共同研究「瀬戸内海の歴史民俗」により二神島を主たるフィールドとして、文献史料(中世～近代)、墓地と葬送儀礼、木造船、古写真などの調査をすすめてきました。本講座はその成果をもとに、河野水軍の一翼を担った二神家が中世以来領有してきた二神島という小さな島の歩んだ歴史と豊かな民俗世界を紹介しています。



写真1 二神司朗家文書



写真2 二神島の風景

講座日程

回	テーマ	講師	日時
第1回	伊予二神家文書と村上水軍	前田禎彦 所員 外国語学部 教授	2016年6月3日(金)
第2回	二神家の土地をめぐる家と人々	田上 繁 所長 歴史民俗資料学研究科 教授	2016年6月10日(金)
第3回	島の近世——二神村と二神家	関口博巨 客員研究員 歴史民俗資料学研究科 講師	2016年6月17日(金)
第4回	使われなくなった船大工道具調査からみえてきたこと	石野律子 客員研究員 歴史民俗資料学研究科 講師	2016年6月24日(金)
第5回	二神島・葬送儀礼と墓の民俗	古谷野洋子 特別研究員	2016年7月1日(金)
第6回	二神島の妙見信仰——星辰信仰と日本文化	佐野賢治 所員 歴史民俗資料学研究科 教授	2016年7月8日(金)